

後援会 東北工業大学 だより

第40号

東北工業大学後援会

令和7年4月18日(金)

〒982-8577 仙台市太白区八木山香澄町35番1号 電話(022)305-3155



別刷 令和7年度父母懇談会のご案内
令和7年度父母懇談会日程
講演者紹介
キャンパスガイド家庭版

ページごあんない

後援会会長あいさつ	2
令和7年度後援会総会	2
令和6年度事業報告	3
令和7年度事業計画	5
令和6年度決算報告書	6
令和7年度予算	6

ごあいさつ



後援会会長
丹野 喜昭

平素より、東北工業大学後援会活動にご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。
今年度、後援会総会におきまして2025年度会長に拝命され、1年間保護者の皆様と共に学生および大学のお手伝いをさせていただく事になりました。
昭和60年4月に発足した東北工業大学後援会の会長として運営に携わることとなり、その責任の重さに身の引き締まる思いです。皆様のお力添えをいただきながら、誠心誠意努めさせていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。
それでは、後援会の事業をいくつかご紹介させていただきます。

1. ご父母対象事業

<父母懇談会>

大学と家庭との連携を深める活動として、例年6月に父母懇談会を開催しております。仙台会場2カ所（八木山キャンパス・長町キャンパス）、東北5県および新潟県の計8会場に加え、オンライン面談も実施しています。仙台会場については11月にも開催を予定しております。

父母懇談会では、ご子女が所属する学科の教員と個別面談を行います。学業はもちろん、授業の出席状況、就職対策、課外活動などについて、直接教員からアドバイスを受ける貴重な機会となっております。参加されたご父母から大変好評をいただいております。

また、オンライン（オンデマンド）講演会を後援会 Web サイト内で配信いたします。内容は、就職委員長による「本学の就職サポート体制と各学科の就職状況」、およびカウンセラーによる「本学における学生相談のご案内」となっております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

<大学見学会>

10月の大学祭に合わせ、ご父母を対象とした大学見学会を実施いたします。学生の普段の活動や成果をご覧いただく機会となっております。後援会としては、大学祭で使用できる金券を補助いたしますので、ぜひ多くの皆様のご来場をお待ちしております。

2. 学生対象事業

<100円カレー DAY>

大変好評をいただいている「100円カレー DAY」の経費を援助いたします。本事業は、食事を摂らない学生や栄養の偏りによる体調不良を防ぐことを目的としており、学生の健康維持と経済的支援の一環として実施いたします。

<課外活動支援>

クラブ活動の用具類の購入支援を行うほか、令和6年度は課外活動優秀者として2団体、50名の個人が学長より表彰されました。後援会からは、その副賞を贈呈いたしました。

<就職支援>

就職活動に役立つ「就職の手引き」の作成支援、就職支援講座・模擬テストの開催支援に加え、保護者向け就活アドバイスセミナーの開催や、公務員教養試験対策講座の経費の一部を援助しております。

<貸与奨学金>

歴代のご父母から委託された特別積立金の活用策の一環として、平成12年度より「東北工業大学後援会貸与奨学金制度」を制定しております。この制度により、4年次に在籍し、経済的な理由で就学が困難な学生に対し、後援会が銀行と提携して奨学金を貸与しております。

上記の事業に加え、ご父母・学生・大学のためにさまざまな施策を実施し、満足度の高いサービスの提供を心がけております。今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和7年度 東北工業大学後援会総会

日時 令和7年4月4日(金)午前11時45分(入学式終了後)
場所 東北工業大学八木山キャンパス体育館
出席者 新入生ならびに在学生の父母約800名

※令和6年度をもって小鹿会長・富谷理事が退任されました。ご尽力に厚くお礼申し上げます。

令和7年度 後援会役員

- 第1号議案 令和6年度事業報告及び決算について
高橋副会長より、後援会の主要事業である父母懇談会を含む令和6年度の事業報告が行われた。その後、丹野会計担当理事より決算報告。遠藤監事より、監査報告が行われ、原案どおり承認されました。
- 第2号議案 令和7年度事業計画並びに予算(案)について
伊藤副会長より事業計画(案)、丹野会計担当理事より予算(案)が提案され、原案どおり承認されました。
- 第3号議案 令和7年度役員改選(案)について
事務局より、新年度役員の提案があり、承認されました。

議長解任後、令和7年度新役員の紹介が行われ、丹野会長が挨拶し、12時30分ごろ閉会しました。

役職名	氏名	役職名	氏名
会長	◎ 丹野 喜昭	青森県支部長	八戸 認
副会長	佐藤 育朗	秋田県支部長	佐々木雅章
副会長	高橋 健一	岩手県支部長	福士 光則
副会長	伊藤 克利	山形県支部長	加藤 元康
会計担当理事	◇ 小野寺正美	福島県支部長	嶺岸由紀彦
理事	堀 豊	新潟県支部長	大竹 章夫
理事	安倍 恵子	監事	齋藤 麻希
理事	青木 強	監事	遠藤 拓
理事	佐々木直美		
理事	○ 菊池 ルミ		
理事	○ 樋口 一成		

◎印は会計担当理事から会長
◇印は理事から会計担当理事
○印は新任

令和6年度 後援会事業報告

東北工業大学後援会は、昭和60年4月に発足してから今年度40年目を迎えることができました。

本会は、規約にもありますように、その目的を実現するため種々の事業を継続的に行っております。ここに令和6年度の活動を報告いたします。

記

1. 大学と家庭との連絡活動

(1) 父母懇談会

後援会の主要行事の一つである父母懇談会は、6月には東北から新潟までの8会場及びオンライン、11月には仙台会場及びオンラインにて開催され、431名（ご両親出席も1名として集計）のご父母が参加されました。

各会場では大学側の近況報告後、学科ごとに教員との個人面談が行われました。ご父母からは、学業成績をはじめ就職問題に至るまで活発な質問やご意見が寄せられ、応対する先生方と和やかな中にも熱心な話し合いがもたれ、好評のうちに終了しました。

4年目となるオンライン個人面談には、6月、11月合わせて89名のご父母が参加されました。

開催地	青森県青森市	秋田県秋田市	岩手県盛岡市	宮城県仙台市	オンライン	山形県山形市	福島県福島市	新潟県新潟市	宮城県仙台市	オンライン	合計
実施日	6/1	6/1	6/2	6/8	6/8	6/15	6/16	6/2	11/9	11/9	
参加者	18	20	25	111	34	32	18	5	113	55	431
工学部	電気電子工学科	2	4	1	22	17	6	0	28	13	93
	情報通信工学科	9	3	6	24	6	10	9	0	21	105
	都市マネジメント学科	0	1	7	6	1	5	1	0	10	32
	環境応用化学科	0	2	4	8	1	4	2	0	5	30
LD学部	建築学科	4	6	5	17	1	3	3	3	15	62
	産業デザイン学科	3	1	2	14	3	2	3	1	17	51
	生活デザイン学科	0	3	0	12	2	0	0	0	9	33
経営コミュニケーション学科	0	0	0	8	3	2	0	1	8	3	25

※ LD学部はライフデザイン学部の略称です。
（ご両親出席も1名として集計）

参加者からのアンケートでは、

- ・現状の課題、今後の対応や目標について分かりやすく説明して頂きました。
 - ・最近の様子に加え今後のアドバイスもいただきました。ありがとうございます。今後ともよろしくお願ひします。
 - ・なかなか大学生活の様子を聞く事ができないので、貴重な場として毎年参加しています。参加する度に改めて娘と向き合い今後についての話し合いにつながり、とても有り難いです。
 - ・出席日数、成績の事を聞く事ができ大変参考になりました。ありがとうございます。
- などの感想が寄せられました。

(2) オンライン（オンデマンド）による講演会の開催

父母懇談会の開催に合わせ、後援会 Web サイトへ講演会の動画を掲載しました。講演内容は次のとおりです。

講師：就職委員長 角田 裕（工学部 情報通信工学科 教授）
演題：「大学の就職サポート体制と各学科の就職状況」

講師：袋地 知恵（カウンセリングルーム カウンセラー）
演題：「本学における学生相談のご案内」

皆様が関心の深いテーマを今後も継続し、より充実した講演会にしていきたいと考えております。

(3) 「後援会だより」並びに「キャンパスガイド家庭版」の発行

後援会の活動状況を会員にお伝えするため、「後援会だより」（第39号）を4月に発行しました。

あわせて父母懇談会の意義や講師の紹介などを掲載した父母懇談会のご案内と「キャンパスガイド家庭版」を作成し送付しました。

2. 学生生活に関する援助

(1) 100円カレーデー（昼食）への経費援助

食事を摂らない学生や栄養の偏り等で体調を崩してしまう学生の健康改善と経済支援策として、学業に専念できる状態を維持することを目的とし大学が実施する100円カレーデー（昼食）の経費を援助しました。

(2) 災害発生時の帰宅困難学生用の備蓄品（食料）購入に係る経費の一部を援助しました。

(3) 女子学生支援として、各キャンパス保健室前トイレに生理用品を設置し、無償で使用できるようにしました。

3. 就職支援の援助

(1) 「就職の手引き」の作成

学生の就職活動に役立ててもらうため、就職活動の進め方や履歴書の書き方などを記載した「就活ガイドブック」を作成、3年次生に配布し、その経費の一部を援助しました。

(2) アセスメントテスト・民間就職試験対策講座の実施

学修や生活に適した目標設定や就職活動に向けた自己分析を行うため、4年次生におけるアセスメントテスト（PROG）の経費を援助しました。

また、1～3年次生の就職支援を強化するため、希望者に対し「応募書類対策講座（履歴書・エントリーシート）」、「筆記試験対策講座（SPI・玉手箱）」、「模擬面接&グループディスカッション講座」を実施し、その受講料の一部を援助しました。さらに、保護者向け「親ができる就活アドバイスセミナー」の受講料の一部を援助しました。

(3) 「公務員教養試験対策講座」の受講料の一部を援助しました。

(4) 就職活動に備えることを目的に実施した、「就職活動早期準備講座」の経費を援助しました。

(5) 進路支援活動への支援

各学科で実施する進路支援活動に対し、学生数×1,000円を上限に援助しました。

4. 課外活動の援助

学生会・課外活動連合委員会を中心とする学生の自主活動には、体育会系・文化会系クラブの約50団体と、学生会・大学祭実行委員会・報道部会・応援団・その他任意団体がありますが、その活動を後援する目的で下記のとおり援助を行いました。

(1) クラブ活動用具類等の援助

課外活動連合委員会からの要請を受け、各クラブの活動状況を評価して、必要な物品を援助しました。

(2) 北海道科学大学との総合定期戦における諸経費の一部援助

第39回北海道科学大学・東北工業大学総合定期戦が8月20日・21日の2日間開催されました。

今年は、北海道科学大学体育館メインアリーナなどを会場に、サッカー部・ソフトテニス部・弓道部・硬

式テニス部・バスケットボール部・剣道部・柔道部・アメリカンフットボール部・男子バレーボール部・女子バレーボール部・ハンドボール部・バドミントン部・卓球部の12競技13種目で熱戦が繰り広げられ、接戦の末、7勝6敗で本学が総合優勝を飾りました。それらに掛かる経費を一部援助しました。

(3) 千葉工業大学との硬式野球部定期戦
千葉工業大学との第47回硬式野球部定期戦は8月17日に千葉工業大学の茜浜球場で開催され14-6で勝利を収めることができました。

この定期戦に伴う費用の一部を援助しました。

- (4) 学外指導者への援助
学生のクラブ活動をご指導いただいている学外指導者に対し、大会への引率旅費等を援助しました。
- (5) 課外活動クラブが遠征等に八木山シャトルを利用した際の借用経費等の一部を補助しました。
- (6) 課外活動クラブが学外での練習等で利用する施設の使用料を補助しました。
- (7) 課外活動優秀者表彰において、団体表彰(2団体)及び個人受賞者(50名)へ副賞を贈呈しました。

5. 教育に必要と認められる援助

- (1) 図書館への援助
電子書籍を購入し、大学図書館に寄贈しました。
- (2) 卒業生および新入生への援助
卒業生に対する記念品として印鑑、新入生に対する記念品としてキャンパスカレンダー、および産業デザイン学科学生へのデザインによるペーパーバッグ(手提げ袋)を贈呈しました。
- (3) 二輪車運転実技講習会経費の一部援助
大学では、安全運転の徹底をはかるため二輪車で通学する学生に対して、登録制度を採用しており、大学が指定する実技講習会の受講を義務付けています。本年度は、5月、6月に実技講習会を実施しており、全体で32名が宮交自動車学校の指導員より指導を受けました。講習会参加賞品の一部を援助しました。
- (4) 工大山羊プロジェクトに係る経費を援助しました。
- (5) 10月12日(土)・13日(日)八木山キャンパスで開催された大学祭時に学生の活動や学内の様子を見学するための「大学見学会」を実施し、それら経費の一部を援助しました。
- (6) 施設整備のための援助
長町キャンパス1号館1階入口(風除室)に、学生作品を展示するショーケースを設置するため、ショーケース製作の材料費を援助しました(本学専門技術職員制作)。

6. その他大学の発展に寄与するものと認められる援助

- (1) 貸与奨学金制度
大学から推薦された2名の学生に後援会貸与奨学生として総額1,136,700円を貸与いたしました。
昨年度までに採用された70名の卒業生から返還が行われております。卒業された奨学生の方々の社会でのご活躍を祈念いたします。
- (2) 一番町ロビーへの援助
東北工業大学一番町ロビーの広報活動の一助として、「一番町ロビー通信」の印刷経費等を援助しました。

7. 後援会支部組織の強化支援

後援会の充実と組織の強化を図るため、東北5県(宮城県除く)および新潟県に支部を結成しており、地元での活動を行っています。
大学と各支部との情報交換および活動支援のため、後援会本部役員等が各支部総会のほか幹事会にも参加し意見交換を行っています。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で一部の幹事会を中止、持ち回り開催しておりましたが、本年度は順調に開催されました。
各支部では、支部会報を発行する等の活動が行われています。

令和6年度 各県支部総会開催および支部役員

開催県	青森県 第30回支部総会	岩手県 第31回支部総会	秋田県 第29回支部総会	山形県 第33回支部総会	福島県 第30回支部総会	新潟県 第26回支部総会
開催日	6月1日(土)	6月2日(日)	6月1日(土)	6月15日(土)	6月16日(日)	6月2日(日)
支部長	八戸 認 (青森市)	福士 光則 (滝沢市)	佐々木雅章 (秋田市)	加藤 元康 (東置賜郡)	嶺岸由紀彦 (福島市)	大竹 章夫 (阿賀野市)
事務局長	有馬 清文 (青森市)	佐藤 功 (北上市)	高橋 孝悦 (秋田市)	高藤 雅博 (最上郡)	宗像 幸雄 (郡山市)	市川 勝彦 (阿賀野市)
幹事	西館 隆 (八戸市)	藤 安彦 (盛岡市)	藤田 正春 (秋田市)	佐々木健一 (山形市)	壁谷 茂 (田村市)	相田 悦子 (阿賀野市)
	佐藤 仁志 (和田市)	菅原 正明 (盛岡市)	小林 克至 (秋田市)	小林 雅史 (山形市)	山田 良一 (福島市)	藤原 俊一 (新潟市)
	横内 俊博 (青森市)	菊地 康 (奥州市)	藤澤 哲 (秋田市)	山口 薫 (西置賜郡)	只野 昭治 (二本松市)	加茂 克明 (新潟市)
	長利 好晃 (つがる市)	佐々木敏江 (柴波郡)	浅利 善人 (秋田市)	五十嵐志真 (鶴岡市)	林 由紀江 (いわき市)	五幣 一孝 (新潟市)
	成田 全弘 (南津軽郡)	畠山 泰彦 (北上市)	足利 健 (秋田市)	土田 裕 (鶴岡市)	工藤 明大 (福島市)	土田 恵子 (見附市)
	数牛 茂光 (和田市)	小原 学 (柴波郡)	佐々木 司 (秋田市)	五十嵐 恵 (新庄市)	石田 順子 (伊達市)	<顧問> 伊藤 広義 (阿賀野市)
		日廻 葉子 (奥州市)	藤田 勝 (秋田市)	増川 卓也 (鶴岡市)		
		吉川 香 (滝沢市)	高橋 雄一 (秋田市)	芳賀 好治 (寒河江市)		
		梅澤 悦子 (北上市)	奥山 正樹 (由利本荘市)	目黒 一美 (米沢市)		
		萩原 一枝 (一関市)	高橋 秀彰 (由利本荘市)			
		山浦 秀敏 (大船渡市)	山内 善幸 (秋田市)			
退任された役員		鎌田 正彦 飛澤 隆 (令和6年3月)		三澤 桂一 齋藤 俊之 庄司祐一郎 (令和6年3月)	立谷 惣一 (令和6年3月)	

8. 同窓会との連携強化

例年、大学の発展に寄与するため、大学の支持基盤の強化を図る一助として同窓会との連携を強める活動として同窓会総会・懇親会に後援会役員が出席し交流を深めています。
また、同窓会山形支部総会、北上支部総会へ出席しました。
更に、令和5年の青森県に引き続き、令和6年は秋田県の父母懇談会時に本学同窓生による企業紹介が行われました。

9. 後援会事務局からの情報発信

令和2年4月より、東北工業大学後援会 Web サイトを開設しました。本会の運営状況につきましては <https://tohtech-koenkai.org/> からご確認ください。

10. 諸会議等

- 総 会 令和6年4月4日(木)(議案書審議)
- 三 役 会 議 令和6年10月2日(木)(秋の理事会・令和6年度事業、予算中間報告について
令和7年度事業計画について)
- 理 事 会 令和6年10月12日(土)(令和6年度事業、予算中間報告について
令和7年度事業計画について)
- 大学見学会 令和6年10月12日(土)(宮城県外ご父母 大学見学会)
- 大学見学会 令和6年10月13日(日)(宮城県内ご父母 大学見学会)
- 三 役 会 議 令和6年12月11日(木)(卒業・入学記念品選定、支部活動経費など)
- 三 役 会 議 令和7年2月10日(月)(貸与奨学生について
(メール審議))
- 会 計 監 査 令和7年3月8日(土)
- 三 役 会 議 令和7年3月8日(土)(総会議案検討)
- 理 事 会 令和7年3月15日(土)(総会議案書審議)
- 事務局会議 随 時

令和7年度 後援会事業計画

後援会規約第3条に基づき、事業計画の主な項目として、下記のとおり提案します。

記

1. 大学と家庭との連絡活動

(1) 父母懇談会

大学教職員と父母との交流の場として、学生の学園生活・修学および就職状況等について語り合う父母懇談会を開催します。父母懇談会の充実に努め、参加者の増加を図ります。

詳細につきましては4月下旬発送予定の父母懇談会のご案内もしくは本会 Web サイトをご覧ください。

(2) 父母懇談会時の講演会の実施

各父母懇談会会場において、講演会を開催しておりますが、令和7年度につきましてもオンライン（オンデマンド）とし、後援会の Web ページより視聴することができるよう準備します。

講師には、就職委員長（本学教員）およびカウンセラーを予定しています。

(3) 「後援会だより」「キャンパスガイド家庭版」の発行

後援会活動状況ならびに大学生活等の情報発信メディアとして「後援会だより」を発行するほか、教職員・学生・父母が大学の情報を共有して、大学の動向について理解を深めていただくため、「キャンパスガイド家庭版」を作成します。

2. 学生生活に関する援助

(1) 100円カレーデー（昼食）への経費援助

食事を摂らない学生や栄養の偏り等で体調を崩してしまう学生の健康改善と経済支援策として、学業に専念できる状態を維持することを目的として援助しております。なお、大学当局、同窓会、学友会と共に4団体での継続的な支援を続けていきます。

(2) 災害発生時の帰宅困難学生用の備蓄品（毛布、水、食料等）購入に係る経費の一部を援助します。

(3) 女子学生支援として、各キャンパス保健室前トイレに生理用品を設置し、無償で使用できるようにします。

3. 就職支援の援助

(1) 就職活動に役立つ「就職の手引き」など冊子類の作成に係る経費の一部を援助します。

(2) 学修や生活に適した目標設定や就職活動に向けた自己分析を行うため、4年次生におけるアセスメントテスト（PROG）の経費を援助します。

また、1～3年次生の就職支援を強化するため、希望者に対して「民間就職試験対策講座（応募書類対策、筆記試験対策、模擬面接）」などを実施しますが、その受講料の一部を援助します。さらに、保護者向け「親ができる就活アドバイスセミナー」の受講料の一部を援助します。

(3) 「公務員教養試験対策講座」の受講料の一部を援助します。

(4) 「就職活動早期準備講座」の経費を援助します。

(5) 各学科の進路支援活動に対して、経費の一部を援助します。

4. 課外活動の援助

(1) クラブ活動の援助

体育・文化系団体等の学生の自主的活動を支援するため、その活動経費等の一部を援助します。また、年間活動優秀団体を表彰します。

(2) 大学祭等に対する援助

学生の全学的行事である大学祭等に対する援助を行います。

(3) 学外指導者の諸経費援助

学生の課外活動の指導に当たる学外指導者に対し、旅費・宿泊費等を援助します。

(4) 北海道科学大学定期戦への援助

今年度は、北海道科学大学を会場に開催されます。その経費の一部を援助します。

(5) 千葉工業大学との硬式野球部定期戦への援助

(6) その他必要と認められる援助

その他、課外活動等への援助に関しては大学・学生委員会と連携を図りながら進めます。

5. 教育に必要と認められる援助

(1) 書籍等の図書を購入し、大学図書館に寄贈します。

(2) 卒業生・入学生に対して、記念品を贈呈します。

(3) 工大山羊プロジェクトに係る経費を援助します。

(4) 学生の自主的活動（T-project、起業学生 Lab）や社会連携・社会貢献の企画に対し経費を援助します。

(5) その他、必要と認められる援助をします。

6. その他大学の発展に寄与するものと認められる援助

(1) 学生生活環境の整備

学生の生活環境の向上を図るため、諸施設・設備整備のための経費の一部を援助します。

(2) 自主的サークル活動への援助

課外活動連合委員会傘下クラブ以外の学生の自主的サークル活動の援助を行います。

(3) サテライトキャンパスへの援助

「サテライトキャンパス通信（仮称）」の印刷経費等を援助します。

(4) 特別積立金

後援会としての特別積立金総額は令和6年度末において約6,100万円となっております。

本年度においては、特別積立金会計に100万円を計上することとします。

特別積立金の使途については、次世代へ、その恩恵を継続できるよう次の3点を踏まえ今後も検討していきます。

1) 特別積立金の使途については、大学当局と十分意見交換を行いながら、具体的な方策を提案します。

2) 学生に豊かなキャンパスライフを提供できる施策とします。

3) 今後在籍する学生も利用可能な学生支援事業とします。

(5) 貸与奨学金制度

歴代のご父母から委託されてきた特別積立金の使途の一方策として、平成12年度から東北工業大学後援会貸与奨学金制度が制定され、72名の卒業生に貸与してきました。その運用にあたっては特別積立金の果実（利子）により賄えることが望ましいが、現状に鑑み特別積立金の中から500万円を限度として貸与奨学金預金担保に組み入れます。

平成26年度までは奨学金対象者6名でしたが、平成27年度より8名に増やしました。

なお、返済期間満了に伴って生じる貸与奨学生預金担保戻入金は特別積立金に繰り入れます。

7. 後援会支部組織等の強化支援

支部組織の強化を図るため、適宜、支部幹事会を開催します。また、各県支部活動の情報交換や大学見学会等の活動を支援します。また、宮城県内会員に対しては、本部役員が支援いたします。

8. 同窓会との連携強化

大学の発展に寄与するため、大学支持基盤の強化を図る一助として、同窓会との連携を強めます。

(1) 後援会、同窓会の三役連絡会議を随時開催し、交流を図ります。

(2) 各支部と同窓会支部との連携拡大（父母懇談会時のOB・OG企業紹介等）に努めます。

9. 後援会事務局の強化

本後援会の事務局は運営細則により大学当局の教務学生課が担当していますが、本会事業運営の発展とともに事務量は年々増加し、日常業務に支障をきたしている状況にあります。本会発足20年（平成18年度）を契機に大学当局、同窓会および本会の三者共同負担による専従職員の配置を行なってまいりましたが、平成26年度より後援会専従職員を配置しております。

令和2年度より東北工業大学後援会 Web サイトを開設し、後援会イベントのご案内や活動の様子を掲載し、情報発信に努めます。